

ベストカー

アメリカにも軽トラ好きがいる!

本文でも触れたが、アメリカにおける軽トラ&軽1BOXチューニングはすごい。彼らは軽トラを「Japanese mini truck」と呼び、軍用車のようなアヒアランスを与え、大胆な車高アップを施して、野山を遊びまわっているのだ。それらの様子は動画共有サイトにも上げられているので、「Japanese mini truck」と入力して検索してみよう。大興奮必至の迫力満点の動画が見られるぞ。日本で彼らが乗っているようなクルマを再現するには、いろいろと問題があるが、一見の価値は大アリだ!



左から2番目に戸森氏の姿が写っている



このスプリングを装着すれば林道も河原もラクラク。行動範囲が圧倒的に広がること確実だ

発の際は、試行錯誤を繰り返したという。その甲斐あって見事製品は完成、その後はダイハツのアトレ/ハイゼット、スバルのサンパー用と商品揃え、現在に至っているというわけだ。気になるリフトアップ量は、エプリーで約40mm、ハイゼット/アトレ、サンパーで約35mmと控えめだが、威力抜群。その中でこのスプリングと一番相性がいいのはサンパー。他の車種がサス形式の関係でデフやアクセルシャフト部分の地上高を上げるには、タイヤ外径を大きくする必要があるので、対し、四輪独立サスを持つサンパーは、スプリングのリフトアップ量がそのまま最低地上高アップ量になるからだ。サンパーの純正装着タイヤから1サイズアップとなる175



高速を使うこともあるだろうが、試行錯誤を繰り返したというだけに、パッチリ安定

地は若干固くなったというように、確かにノーマルより乗り心地が所有するサンパーに試乗してみた。今回はオンロードのみでの試乗だったが、パネレイド設定に苦労したというだけあり、確かにノーマルより乗り心地は若干固くなったというように

理論はわかった。じゃ、乗ってみてどーなの?

60R14に変更すれば、リフトアップ量は、スプリングのアップ量と合わせ50mm超え、これだけ上げれば、ガレた林道だろうと下回りをヒットすることはまずないだろう。むしろ他の車種でも、タイヤサイズを大きくすることで、下回りをヒットする可能性は大幅に減る。軽トラ&軽1BOXが、軽SUVをはるかに凌ぐ積載性を持っていることを考えれば、このリフトアップスプリングを装着した軽トラ&軽1BOXこそ、最高のアウトドアの相棒とわかるだろう。

感したものの、充分許容できる範囲。装着されて

いるタイヤがラリー用タイヤだったため、タイヤのパターンノイズが気になったが、これはタイヤを換えれば済むことなので、問題にはならな

いだろう。これだけオンで走ってこれれば、まさに

問はず使え

るマルチバ

ーパスビー

クルとなる

こと、確実

だ。

フォレスト

オートは

今後、先代

エプリーや

現行ミニキ

ャブ/タウ

●対応車種リスト

車名	年式	価格
ススキ エプリーバン/ワゴン	H17年式~現行型	3万9800円
ダイハツ ハイゼット/アトレ	H17年式~現行型	3万9800円
スバル サンパーバン/ディアス	H11年式~現行型	3万9800円
スバル サンパートラック	H11年式~現行型	3万9800円

気になる人は……
「フォレストオート」へ今すぐTEL!!
リフトアップスプリングの装着はフォレストオートで行なうのが望ましいが、通信販売も受け付けている。ご希望の方はe-mailまたは電話で注文! 装着後はアライメントおよびヘッドライトの光軸の確認、調整するのがオススメ。
■フォレストオート
千葉県香取郡多古町十余355-13
TEL&FAX 0478-75-2726
e-mail info@forest-auto.com
HP http://www.forest-auto.com

ンボックス用のスプリングも開発するというから、オーナーの方は期待して待ちたい。リフトアップスプリングによる車高アップで広がった行動範囲のカーライフ&アウトドアアライフを充実したものにしよう!

悪路をものもしない



剛脚サンパー登場!!

ように、シヤックルを換えたり、サスの付け根にスベサーをかませて車高を上げるようなやり方では、改造申請が必要になってしまふ。そこで、より手軽に&より多くのユーザーの手に届けるため、スプリングキットというかたちで販売することを決めた。そのような経緯で開発され、昨年の夏に販売開始となったフォレストオートのリフトアップスプリングキット。車検対応で非常にウレシイのだが、開発はやはり苦労したという。一番苦労したのは、やはりパネレイドの設定。車高が上がる=重心が上がるため、フラつき防止のためにはリフトを上げねばならない。かといって、乗りにパネレイドを上げれば、乗り心地は劣悪になる。その両立のため、第一弾となる現行エプリー用



フォレストオート代表の戸森氏がこだわったという、ガンメタカラーがシブいスプリング。製造は川崎で行なわれているという

これは珍なり (152)

まだまだあるクルマ社会のミステリー

軽トラ/軽1BOXの地上高を上げたいアナタに……

軽トラ&軽1BOXのユーザーリティの高さは、クルマ好きの人の間じゃ、もはや常識レベルに知られている。なんといつても小さなボディと積載量の多さが魅力だ。となれば「この利点を生かして、もっと遊びにも使えるようにならないものか」と考えても不思議ではない。が、溪流釣りや山菜採りなどのために林道を走れる軽となると、やはりそれはジムニーのような軽SUVの独壇場となってしまっていた。そう、今回紹介するフォレストオートの商品「軽バン、軽トラ用リフトアップスプリング」が登場するまでは。千葉県多古町にあるフォレストオートは、もともと海外に日

本軽トラや軽バンを輸出する事業をメインにやっていた会社。アメリカでは、それらのクルマは到着するやいなやリフトアップが施され、パネレイドを装着。野山を駆け回るためのホビー用のクルマとして使用されているのだ。フェンダーからはみ出るほどのパネレイドに、車体全周を覆うようなローケルゲージ、そしてカモフラ塗装が施されたこれらのクルマは非常にカッコいい。その画像を、ホームページに掲載したところ、日本のユーザーからも「ウチの軽もリフトアップしたいんだけど」という声が多くフォレストオートに届いたという。

より多くのユーザーのためのスプリングキット。その要望をかなえるために動き出したフォレストオート。とはいえアメリカの

数字をいわれてもまいちピンとこなかったアナタも、この写真ならサンパーの最低地上高がすごいことになっているのわかるはず。へたなSUVよりよほど悪路走破性があるのわかってもらえるだろう